

事業報告

令和5年度 県・市町村社会教育委員研修

日時：令和5年6月22日（木）12:45～16:00

会場：大分県立図書館 視聴覚ホール

参加者：93名（14市町村88名、県5名）

<趣旨>

県及び市町村の社会教育委員が、地域で社会教育事業を推進するために果たすべき役割や今後の社会教育行政の在り方について考えることをとおして、主体的に活動に参画する意識を高めるとともに、活動内容の充実を図る。

【研修1】13:00～14:30

講演：元気で安全な地域創りとリーダーシップ ―毎日が蘇りー

講師：熊本大学名誉教授 吉田 道雄 氏



軽妙なトークの中、リーダーシップ論をわかりやすく解説いただくとともに、地域社会や組織内でのコミュニケーションの大切さや方法論を学ぶことのできる講演でした。

【研修2】14:40～15:25

実践発表：大分市社会教育委員会の取組

発表者：大分市教育委員会社会教育課参事
安部 桂司 氏

大分市の社会教育委員会での実践的な取組、障がいのある人が生涯にわたり学び続けることのできる社会の実現に向けた研究についての発表でした。



【研修3】 15:30~15:50

講義：人権教育推進のための取組について

講師：大分県教育庁人権教育・部落差別解消推進課 社会教育主事 猪迫 幸貴 氏



人権教育推進のための取り組みについて、「部落差別の解消の推進に関する法律」「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」の3つの法を柱とした講義でした。

<参加者感想>

- 吉田先生の講義は大変勉強になりました。具体的に体験談が為になる話等これからの活動に活かしていきたいとおもいました。
- 実践発表は参考になりました。帰ってから再度目を通したいと思いました。どんな団体もリーダーになる方によって人が寄ってくるように思います。リーダーを決める事が大事ではないかと思った。
- 大分市の事例発表について、『青年層』の社会教育活動への参画が課題だということであった。本町でも大きな課題であり、改善に向けた取り組み、仕掛けも行なっているところである。他自治体の『青年層』に向けた取り組み、事例も聞いてみたい。
- 講演内容が今自分が直面している課題であり、参考になった。
- 人権問題は毎年やっています。大切なことだと思います。